

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
多機能型障がい福祉サービス事業所あっぱ		令和7年 5月 29日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	室内は仕切らず、広く使えるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	0	4月からは、常勤職員を一人増やしており、より充実した支援体制がとれるようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	現在は身体に障害のある利用者がいないため取り外しているがトイレは、必要な時には段差をなくしてバリアフリー化していた。	今後は外の階段なども必要に応じて対応する事を検討している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	日々の掃除や消毒等は行っている。また、定期的に児童も一緒に大掃除をするなどをして、個人のロッカーも綺麗に保つようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	個室やパソコン室がある。パソコン室については余暇時間（16時以降）は自由に使い、施設内に畑もあり、畑で過ごす児童もいる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	必要に応じて行っている。	今後は、回数を増やし業務改善に努めていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎年評価表の提出をお願いしており、結果を事業所に掲示し周知している。また今後の対応についてや業務改善について話し合っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	支援時間の前後に話し合う時間を設けており、業務改善や活動内容の改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	第三者委員は設置しており、常時見学を受け入れている事を伝え定例会への参加依頼をしている。第一回目の定例会を夏頃、第二回目の定例会を年明けに予定している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	外部研修の他、福祉サービス従業者がオンラインで研修を受けられるサービスと契約しており、各自いつでも研修を受けられるようになっている。6月の全体研修で外部の講師を招く予定になっている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	法人のホームページへ掲載し、事業所に掲示している。また、各家庭へも配布している。	モニタリングなどで、支援プログラムと関連付けながら説明をしていきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	担当者会議を開催し、都度状況を確認しながら個別支援計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	放デイ職員で話し合い、随時状況確認・情報共有を行いながら作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	計画書作成後は回覧し、情報を共有している。また、日頃から児童の課題や支援に関する話し合いを持つようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	アセスメントシートを作成し、状況に応じて更新している。また日々の支援の状況を日誌へ記録をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	個別支援計画書は、「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援・地域連携」の項目にを設定し、具体的な支援内容を記載している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	支援について話し合いをする際に、活動内容についても話し合いをしている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	活動予定を立てる際には、児童も参加し希望を反映させるようにしている。またその時々児童の興味や状況に合わせ、施設見学・公園・買い物支援なども取り入れている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	一人ひとり個別活動・集団活動を組み合わせた支援計画を立てている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	前日までの児童の状況等も考慮し、児童が来所するまでに職員で話し合いながら活動内容や支援・職員の動き等について話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援時間の前後に話し合う時間を設けており、支援の改善につなげている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	「福祉の森（支援記録ソフト）」に日々の支援状況を記録している。また、印刷したものを個別のファイルに綴り常時確認出来るようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	モニタリングにて保護者・相談員と状況確認し新しい計画書を作成している。作成時には職員も参加している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	「4つの基本活動」を意識した取り組みを行っている。	「移行支援」「地域支援・地域連携」を意識し、地域交流の機械の提供が増えるような支援を検討していきたい。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	毎月の活動内容や、活動に必要なもの（購入が必要な物）等を、考えて希望を職員に伝えてもらうなど、普段から自己決定し動く事を意識して支援をしている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	基本的には児童発達支援管理責任者が出席しているが、必要に応じて保育士、児童指導員も参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	必要な際には協力医療機関や障害福祉、関係機関と連携していく体制は整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校へ迎えに行った際に担任と情報共有や連絡調整を行っている。必要に応じて電話にて連絡を取り合っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	移行してきた児童がいる際には、情報共有などを行っている。	「いいえ」の回答は前回評価時から今回評価時までには児童発達支援から以降した児童の該当がないため。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	卒業前から、移行先と連絡を取り、情報共有を行い、必要に応じて会議等を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	福祉サービス従業者のオンラインで研修を受けている。	今後は研修などで外部講師を呼び、助言を受けられるようにするなど検討している。また、児童発達支援センターとの連携も図れるようにしていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	利用児童の校区にある公園で活動を行う事で、地域の子どもとの関わりを持つ機会を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	圏域自立支援連絡会連絡会議や研修に参加している。また必要に応じて委託相談員と連携をとり、関係機関で支援にあたってきた。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	日々の様子は、送迎時に直接伝えたり、連絡帳を活用し状況を伝えているが、場合によっては電話やメール等でも詳細などを伝えており共通理解を持てるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		相談があった場合には、情報提供を行っている。現在、職員がペアレント・トレーニングの研修を受け、事業所で対応出来るように検討している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に説明を行っており、問い合わせがあった際には適宜対応している。	モニタリングなどの活用し、必要に応じて都度説明を行っている。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	モニタリングにて児童や保護者の意思を確認し個別支援計画を作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	個別支援計画やモニタリングの説明を行い、保護者よりサインをもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	家族からの悩み等に関する相談があった際には助言を行ったり、関係機関へつなげるよう情報を提供している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	4		今後は保護者の意向を確認しながら検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	1	苦情受付窓口を設置しており、契約時に保護者への説明をしている。また、室内に沖縄県サービス適正化委員会のポスターを掲示し窓口や第三者委員会の連絡先を示している。現在まで苦情受付の該当なし。	「いいえ」の回答は、前回の評価から今回の評価までの期間に苦情の該当が無いため。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	夏休み等の長期休暇には、活動予定表を配布している。普段の活動については連絡帳を活用してたり、Instagramで児童の様子を発信している。	SNSの更新が不定期で少ない状況である。今後は回数を増やしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報を個別にまとめたファイルを、鍵がかかる書庫に保管している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	表・イラスト・写真等を見せて情報伝達を行ったり、意思の確認をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2	見学やボランティア、実習などの申し入れがあった際には受け入れをしているが、行事で行事に招待をするなどは行っていない。	多機能型のため、事業所内に地域住民を積極的に招待することは難しいが、地域でのイベントには積極的に参加していきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	各マニュアルを策定し、職員に周知するとともに定期的に研修・訓練を実施している。	家族等への周知は十分ではない。説明を行っていく必要がある。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	BCPマニュアルを策定し、定期的に研修（机上訓練含む）を行いながら職員への周知・訓練を行っている。	今後は、災害訓練カードなどを活用し、児童の活動にも取り入れて行きたいと考えている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	契約時にアセスメントを取っており、定期的に確認をとっている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	医師の指示を保護者から確認しながら対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	年に2回避難訓練（消防訓練）を実施している。	今後はBCPを意識し、災害時の避難先まで行くなども活動に取り組む事を検討している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		家族等への周知は十分ではない。説明を行っていく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットを作成した際には、事業所内で回覧しており、予防策についても話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	全職員に対し、ストレス簡易調査・虐待防止チェックリストを実施し、早期発見や防止に努めている。また、職員へ虐待防止に関する研修を行い、職員が知識を身に着け意識の向上につながるよう努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	2	法人で指針を作成し、保護者へ指針の説明をしている。また、児童室に掲示しており周知をしている。	「いいえ」の回答は、現在、身体拘束を行う必要がある児童に該当がないため。